

こおげ花御所柿



生産地：鳥取県八頭郡八頭町

登録団体：鳥取いなば農業協同組合

農林水産大臣登録第72号



特性

旧郡家（こおげ）町の在来品種で200年以上前から栽培されている「花御所柿」を用いる。一般的な柿と比べて甘く、果肉が緻密でジューシー。昭和22年には戦後初の全国果実展示品評会において、花御所柿が柿の部1等賞となるなど、高く評価されている。

地域との結び付き

1780年頃に奈良県から御所柿を持ち帰って栽培したことが発祥であり、200年以上前から栽培されている。明治42年に農林省園芸試験場の恩田博士が花御所柿と命名。昭和44年から「こおげ花御所柿」の名称でブランド化を推進。